

# Design Management project

## 県デザイン経営塾3

富山県・富山大学芸術文化学部連携事業

同事業報告書ダイジェスト



### 開催主旨

県デザイン経営塾は、現代の生活者が共感する魅力と独自性のある「地域活性化戦略の方向性」を探索し、経営者のための「デザイン・マネジメント」の理解と習得の場を提供することを主旨として、富山県と富山大学芸術文化学部が連携して行ってきました。平成18年度の第1回は、富山市を舞台にものづくりをテーマに、また平成19年度の第2回は、宇奈月温泉を舞台に観光をテーマに実施しました。

今回、第3回目となる平成20年度事業では、射水市を舞台に地域ブランドをテーマとして実施しました。射水市は、平成17年11月に旧・新湊市、小杉町、大門町、大島町、下村が合併して誕生しました。市は住民に新しいまちに対する親しみを醸成すると共に、外部に対して射水市の認知を高めることを目的に地域ブランドの推進を計画、「イミズムズムズ」というスローガンと「水の精」をシンボライズしたキャラクターを制定しました。風土に恵まれた射水市には、海の幸、山の幸にはじまり海王丸などの多様な資源があります。しかし、現在はそれぞれで事業展開が行われているため、まちとしての強い魅力形成には至っていません。

そこで今回の経営塾では、①射水市の多様な産業に関わる関係者が交流し、②地域ブランドに対する理解を深め、③単にキャラクターを冠するのではなく、射水市の根本的な魅力づくりを踏まえたブランドづくりを行う、ためのデザイン・マネジメントを習得することを目標に講演会とワークショップを実施しました。

県デザイン経営塾実行委員会  
(富山大学芸術文化学部)

### 事業名

富山県・富山大学芸術文化学部連携事業

県デザイン経営塾3 「射水市射水ブランド活用戦略」

### 主催

富山大学芸術文化学部

富山県商工労働部商工企画課

射水市観光・ブランド課

### プロデューサー

前田一樹 芸術文化学部長

県デザイン経営塾実行委員会(富山大学芸術文化学部)

実行委員長 : 武山良三

副委員長 : 矢口忠憲

委員 : 渡邊康洋 杉野格 長柄毅一 渡邊雅志  
ペルトネ純子 横山天心

ブックデザイン : 渡邊雅志

写真 : 武山良三 渡邊雅志

### Schedule

デザイン・マネジメントセミナー

2008.9.13 sat 13:30~15:30

「射水の魅力の再発見」/ワークショップ1

2008.9.26 fri 13:00~16:30

「観光客は今、何を求めているか」/ワークショップ2

2008.10.17 fri 13:00~16:30

「射水ブランドの競争力をつける」/ワークショップ3

2008.11.20 thu 13:00~16:30

「世界を目指す地方のブランド戦略」/成果発表会

2008.12.19 tue 13:00~16:00



講師

石田雅之氏  
Masayuki Ishida  
アトリエM(エム)代表



講師

奥田一明氏  
Kazuaki Okuda  
Knoto 代表 アートディレクター  
ビジュアルデザイナー  
射水ブランドロゴマーク制作者



講師

田中章雄氏  
Akio Tanaka  
(株) ブランド総合研究所  
代表取締役社長

#### デザイン・マネジメントセミナー

2008.9.13 sat 13:30~15:30

県デザイン経営塾のオリエンテーションを兼ねてデザイン・マネジメントセミナーを開催しました。「地域ブランドとは何か」について石田雅之氏にご講演を頂き、地域ブランドの定義や、導入するうえで注意すべき点など、地域ブランドに対する概要を解説して頂きました。また射水市が企画したキャラクター「イミズムズムズ」のデザイナーである奥田一明氏にはデザインされた背景や意図をご説明頂きました。討論会では「射水ブランドの活用戦略」と題し、射水ブランドの策定にも関わった芸術文化学部長の前田一樹をコーディネータに、石田氏、奥田氏と3人での討論会を行いました。



講演後は県デザイン経営塾のプロデューサーである前田一樹学部長がコーディネータとなって「地域ブランドの活用戦略」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

#### 「射水の魅力の再発見」／ワークショップ1

2008.9.26 fri 13:00~16:30

#### 見学会

全国的にも知名度のある新湊のカニに触れる見学会を開催しました。長年地元に住んでいても身近な施設は意外と見過ごしていることも多いことから、射水ブランドを考える頭出しとして企画しました。漁港のセリ場床一面に並べられたカニは壮観な眺めで、昼に行われるセリの素晴らしさに塾生の注目が集まりました。

#### 講演会

「射水の魅力の再発見」と題し、田中章雄氏にご講演を頂き、全国各地で地域ブランドの策定や具体的な商品化、あるいは販売に関する事業など、豊富な事例から射水市の状況にも近似した事例を紹介して頂きました。

#### ワークショップ1

講演内容を具体的に考えるためにワークショップを開催しました。ディスカッションが行いやすいよう塾生を3つのグループに分け、コメントを書き留める付箋紙やマーカー、それを貼ることで関係を整理する模造紙などを用意、教員がリーダー役となって射水市の魅力について自由討論を行いました。



講師

長野隆氏

Takashi Nagano

JTB 中部国内商品事業部

北陸地区統括部長

### 「観光客は今、何を求めているか」／ワークショップ2

2008.10.17 fri 13:00～16:30

#### 見学会

海王丸は、商船学校の練習船として誕生した帆船です。昭和5年2月14日に進水して以来、59年余の間に106万海里（地球約50周）を航海し、11,190名もの海の若人を育てました。

海王丸パークでは、この海王丸を現役のままで、公開しています。今回はこの海王丸の船内を見学しました。

#### 講演会

「観光客は今、何を求めているか」と題し、長野隆氏にご講演頂きました。観光は地域活性化の切り札として期待を集めるこれからの産業に位置づけられています。中でも富山県の場合、平成20年7月に東海北陸自動車道が全線開通し、加えて、平成26年末までには北陸新幹線の開通も予定されていることから、その効果に対してどのように取り組むかが鍵になるとご説明頂きました。

#### ワークショップ2

観光客の視点に立ち、自分たちのまちの魅力を再考しました。具体的にお土産に焦点を当て、塾生自身が旅行先で購入したお土産の品目や購入状況、そして手渡したときの相手の反応などから検討すべき項目について議論しました。



講師

生越由美氏

Yumi Ogose

東京理科大学専門職大学院教授

### 「射水ブランドの競争力をつける」／ワークショップ3

2008.11.20 thu 13:00～16:30

#### 見学会

鍍絵（こてえ）は、地域の民家等の装飾として発展しましたが、中でも竹内源造の作品はその立体感溢れる造形表現が全国的にも評価されています。現存する竹内源造の作品が展示されている竹内源造記念館を見学しました。地元の商店会でもまちの魅力づくりに活用しようと数年前より鍍絵看板の制作および設置を行ってきました。塾生は射水市の新たな一面を発見しました。

#### 講演会

「射水ブランドの競争力をつける」—農林水産分野の知財戦略—と題し、生越由美氏にご講演頂きました。知的財産の概要を知ると共に、特に農業水産品や地域名称を冠したブランドについて学びました。

#### ワークショップ3

前回までに抽出した射水の魅力要素を新規性、独自性、実現性、の観点から評価しつつ、根底にどのような要素があるかを話し合いました。成果発表会に向けて、具体的な事業企画についても意見を出し合いました。



講師

左合ひとみ 氏  
Hitomi Sago

グラフィックデザイナー／  
左合ひとみデザイン室代表

「世界を目指す地方のブランド戦略」／成果発表会  
2008. 12.19 tue 13:00～16:00

### 講演会

「世界を目指す地方のブランド戦略」と題し、左合ひとみ氏にご講演頂きました。新潟県燕三条市の金属加工業の活性化として取り組んだブランド“enn”の事例を解説していただきました。その開発プロセスは業者を一箇所ずつヒアリングしてまわる地道な作業から構築されたことが説明されました。そこでは現状を洗いざらい出すことで、良い点、悪い点、を明らかにし、それを地域全体で議論することで解決策を導き出す、というデザイン・マネジメントが実践されていました。

### 成果発表会

「わたしが考える射水ブランド」をテーマに、塾生はそれぞれの立場で事業計画を立案し、発表を行いました。学習した内容を自分のものにしていくためには、具体的に実行してみる事が重要です。塾生にとっては、専門家による講演とはまた違った収穫や刺激が得られる効果がありました。

成果発表会  
発表者／所属  
「発表タイトル」



森永譲治／森永酒店  
「鏝絵のまち小杉」



石川芳子／JAいみず野  
「こだわり味噌」



福田靖子／JAいみず野  
「白えび」



藤岡正明／藤岡農園  
「きららか梨」



片口淑子／(有)片口屋  
「安心安全のもの、伝統の味、  
ふるさとの味を全国に」



三箇信儀／射水市教育委員会  
「東海地方をターゲットにした  
安近短【あんきんたん】  
の観光施設」



磯部宏／射水市役所観光・ブランド課  
「放生津曳山でふるさとを感じよう」



宮脇豊／新湊漁業協同組合  
「白エビを核とした  
射水ブランド展開について」



瀧田秀成／(有)へちま産業  
「五感を楽しむ体験型観光  
(見る・聴く・触る・味わう・香る)」



米田隆彦／(株)米田  
「射水でしか食せないものを」



佐藤昌宏／射水市役所観光・ブランド課  
「射水市移住交流促進事業からの展開」

● 成果発表内容を含め詳細は『県デザイン  
経営塾3 報告書』をご覧ください